

Q 6 : 地域学校協働活動について具体的な取組例を知りたい。

A : 地域学校協働活動とは、幅広い地域住民の参画を得て、地域と学校がパートナーとして連携・協働し、子どもたちの学びと成長を支え、「学校を核とした地域づくり」を進める取組である。かつての地域が学校や子どもたちを「応援・支援する」という一方向の関係ではなく、双方向が役割を理解し、共通の目標に向かって協働する姿が重要である。

地域学校協働活動は、新しいことを始めるのではなく、これまでの活動をベースとし、既にある「強み」や「つながり」を生かしていけるとよい。下記は、県内外で見られる取組事例である。

#### ～地域学校協働活動の取組例～

##### 1 学びによるまちづくり・地域課題解決型学習・郷土学習

地域資源を理解し、その魅力を伝えたり、地域活性化のための方策を考え実行したりする学習活動「ふるさと」について地域住民から学び、自らの地域について調べたり発表したりする学習活動  
地域の産業や商店街の職場体験学習、地域の伝統文化、芸能学習 等

##### 2 学校に対する多様な協力活動

登下校見守り、読み聞かせ、授業補助、配膳補助、環境整備、部活動支援 等

##### 3 放課後子ども教室

地域住民の参画を得て、放課後等に行う学習やものづくり体験、異年齢交流等といった多様な活動

##### 4 学習支援（地域未来塾）

中高生を対象に、教員OBや大学生などの地域住民の協力によって行う学習支援

##### 5 家庭教育支援活動

子どもの成長を支えるための保護者同士の学び合いや交流の機会づくり  
不用品交換や登校意欲を高めるためのお楽しみ活動といったつながりを深める支援

##### 6 地域行事、イベント、お祭り、ボランティア活動等への参画

ボランティア体験学習、伝統行事や祭りにおける伝統文化・芸能発表、地域の防災訓練への参画 等

#### 【参考資料】

- ・「学校と地域の連携・協働推進ハンドブック」
- ・「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的推進

R05.3 県教委  
文科省 HP

Q 7 : コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に進めるためには、どのような取組を行えばよいか。

A : コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）と地域学校協働活動を一体的に進めるためには、熟議において共有したビジョンや目標を、教職員や地域住民と共有し、自分たちができることは何かをそれぞれが考え活動を計画することが重要である。

これまでの取組の総点検から始め、続けるべき取組とやめるべき取組を話し合い、学校・家庭・地域がそれぞれの責任で担う取組、協働で担う取組を明確にする。学校評価については、評価の結果を受けて学校の教育活動や地域学校協働活動の改善を行うことができるように進めるとよい。

一体的に進めるには、地域と学校が、子どもたちの学びを支え、協議し、協働し、活動後の評価、改善を行うくり返しにより次の取組へとつなげ、PDCAサイクルを構築することが大切である。

## 一体的に進めるためのPDCAサイクルの一例

P

### Plan (計画) [学校と地域の協働による取組を進めるための計画]

学校運営協議会では、関係者による熟議の場を設け、子どもたちや地域の未来、目の前の様々な課題等について共通理解を図る。その上で、学校と地域が協力して取り組む活動について、ビジョンや目標を共有し、効果的な取組の進め方を話し合う。

#### 安心・安全を視点とした学校と地域の連携・協働における計画例

「子どもたちと共に地域における自助・共助について考える」を目標に設定し、地域コーディネーターが中心となり、区長・地域の消防団員・PTA等と連携してできる防災イベントを計画（※避難所の設営・子どもと高齢者との交流ができる場も含む）

D

### Do (実行) [共有したビジョンや目標を実現するための取組を実行]

熟議の内容を踏まえて、地域コーディネーターなどが中心となって地域住民の参画や参加協力者等の調整を行い、学校の教育活動を含めた地域学校協働活動を実施する。

#### 安心・安全を視点とした学校と地域の連携・協働における実行例

地域の消防団や区長等と連携し、避難訓練や消火体験を実施  
地域住民と共に避難所の設営を体験、小中高生ボランティアの協力による非常食配布等

C

### Check (評価) [学校運営協議会で地域学校協働活動に対する評価]

学校運営協議会における評価は、学校全体の教育活動だけでなく、地域学校協働活動についてもあわせて行う。（※地域と協働して行う活動の中には、教育課程に関わるものもあるため、それぞれを別々に考えるのではなく、関連づけて一体的に評価する）

#### 安心・安全を視点とした学校と地域の連携・協働における評価例

防災イベントが「子どもたちと共に地域における自助・共助を考える」機会となったかを評価

消防団や区長等と連携した活動は、今後の地域住民の参画意欲を高めたか、子どもたちが地域の一員として何ができるかを考え、行動する力を育てることができたか等を評価する

A

### Action (改善) [次年度に向けた見直しと取組の改善]

評価の結果を踏まえ、次年度に向けて、ビジョンや目標を見直したり、活動内容を工夫・修正したりする。また、新たな課題にどのように対応するかなど、学校運営協議会で協議し、学校の教育活動や地域学校協働活動の改善を行う。

#### 安心・安全を視点とした学校と地域の連携・協働における改善例

「簡易ベッドの組立や避難所体験の説明をする青年団等のボランティアが必要」「指定避難所でのお泊まり体験をやりたい」「中高生には避難生活に必要なスキルを習得させるため、炊き出し体験をさせたい」「婦人会などの協力を得てできる炊き出しについて話したい」「高齢者が安心して参加できる場所を考えたい」等の意見をもとに、次年度の訓練内容や体制を改善

#### 【参考資料】

- ・「学校と地域の連携・協働推進ハンドブック」
- ・「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的推進

R05.3 県教委  
文科省 HP